

# 鶴岡商工会議所 創立90周年記念事業 鶴岡・庄内を知る講座

昨年、鶴岡商工会議所創立90周年記念事業として「庄内藩」をテーマに「鶴岡・庄内を知る講座」を開催したところ、毎回100名以上の参加者があり、市民の歴史に対する関心の高さが伺え、好評だったことから、引き続き、今年度は日本遺産にも登録された「出羽三山」をテーマに講座を開催いたしました。

**第1回**  
9/8(火)

**【霊場出羽三山  
「開山の歴史」】**

受講者／120名

出羽三山神社  
宮司 **宮野 直生氏**

第1回目は120名が参加、加藤捷男会頭の挨拶の後、講師の出羽三山神社宮野直生宮司より「霊場出羽三山『開山の歴史』」と題してお話いただきました。宮野宮司は約1400年も前から続く出羽三山の歴史を話し、「先人達が築いてきた姿を守り、歴史だけではなく、文化の山として子々孫々まで伝えていかなければならぬ」と熱く語りました。

**第2回**  
9/28(月)

**【羽黒修験道に  
見る呪術】**

受講者／112名

出羽三山歴史博物館  
学芸員 **渡部 幸氏**

第2回目は出羽三山歴史博物館学芸員の渡部幸氏より「羽黒修験道に見る呪術」と題して講演。「修験道は現世の幸せを求め何度も何度も自ら山に入り修行する宗教。山は死者の往くところであると同時に生まれるところ、山は神そのものであり神霊の宿る聖地」と語り、羽黒修験道の修行について呪術的な意味合いなども交えて解説いただきました。

**第3回**  
10/21(水)

**【芭蕉「奥の細道」  
と出羽三山】**

受講者／102名

出羽三山神社  
禰宜 **吉住 登志喜氏**

最終回は出羽三山神社禰宜、吉住登志喜氏より「芭蕉『奥の細道』と出羽三山」と題して講演。「出羽三山の長い歴史の中で、一生懸命、山を守ろうとした人達を心の底から理解しようとした芭蕉の命をかけて作った言葉。その俳句が江戸の人々の興味を引き出し出羽三山への旅の人気を広めた。我々も身近にある出羽三山、そして庄内の素晴らしさを未来へ伝えていきたい」と語り、参加者は聞きながら熱心に聞き入っている様子でした。私たちもこの地域を如何に持続発展していくかこれからも歴史を学び続け未来を考えていきたいものです。

県内の魅力を再認識しようとして会員交流事業「秋のOne-dayとりっぷ」を実施しました。米沢コースの希望者が定員を大きく上回ったことから、2日続けて実施しました。10月10日(土)は始めに当会議所加藤捷男会頭が参加者の皆さんへご挨拶し、大型バスで出発。米沢で人気の宿、湯の沢温泉「時の宿すみれ」に着き、そこで米沢商工会議所の増村会頭、小島副会頭等、役職員の皆さんからお出迎えいただきました。その後、米沢牛創作懐石を堪能、ブランド「米沢牛」の美味しさをたっぷり味わいました。「道の駅米沢」(平成30年4月開業)ではたくさんのお土産を買い求め、また川西ダリア園では鮮やかで美しい

鶴岡商工会議所 会員交流事業

**秋のOne-dayとりっぷ** in米沢

10/10(SAT)・11(SUN)

## 時の宿すみれ米沢牛創作懐石と10万本のダリア咲く川西ダリア園



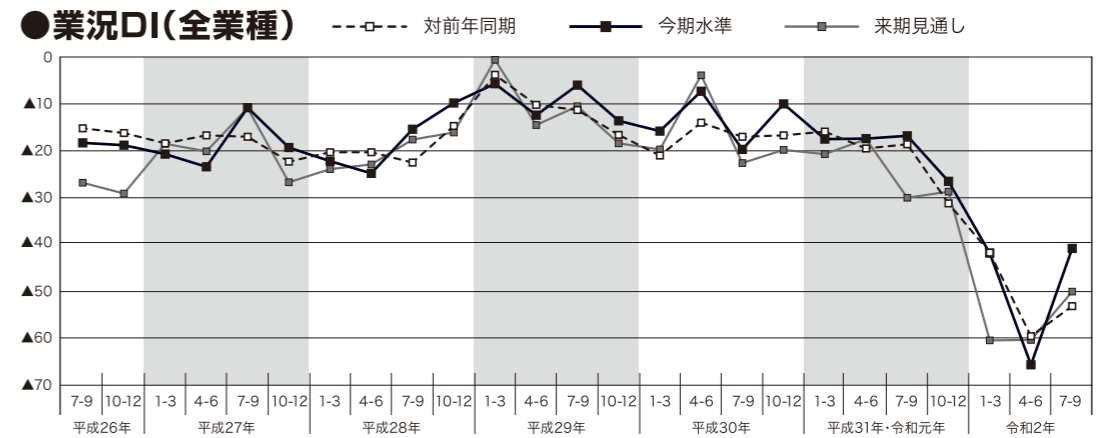
◎10月10日(土)…参加者20名  
◎10月11日(日)…参加者11名

ダリアが目を楽しませてくれました。参加者の安心、安全を守るため、コロナ感染症への予防策をとりながらではありますが、会員同士の交流も見られ、また米沢商工会議所さんの温かいおもてなしに感謝しながらバスの旅は終了しました。今後も地元や近隣の観光地にも目を向け地域経済の活性化が図られるような事業を展開していきます。

# 鶴岡商工会議所 景況調査

鶴岡商工会議所では、平成22年度より、管内の景気動向を把握するため、会員事業所を通して四半期ごとの景況(業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り)をアンケートによって調査しています。  
※DI値とは、「好転」「良い」「増加」「黒字」とする事業所の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「赤字」とする事業所の割合を差し引いた値を表しております。

令和2年7月～9月期 \* 調査対象: 会員事業所264社 回答数: 133社(回答率50.4%)



- 今期水準(令和2年7-9月)では、24.8ポイント改善し▲40.8となった。
- 対前年同期(令和元年7-9月)は、6.4ポイント改善し▲53.1となった。
- 来期見通し(令和2年10-12月)は、10.3ポイント改善し▲50.0となった。

## ●経営上の問題点

- 建設業** 「官公需要の停滞」が最も多く、「民間需要の停滞」が続いている。新型コロナウイルスによる影響の下げ止まりはみられるが、先行きの不透明感から来期の見通しは依然厳しさがみられる。
- 製造業** 前回調査同様に「需要の停滞」が突出して最も多く、「人件費の増加」、「生産設備の不足・老朽化」が続いている。売上の減少が続いているが、コロナの影響もあり首都圏への営業活動が停滞しているとの声あり。また、素材産業が激減しており、回復の見通しが見えないので大変不安だとする声あり。
- 卸売業** 「需要の停滞」が最も多く、次いで「人件費の増加」、「仕入単価の上昇」となっている。メーカーからの仕入は正常に戻りつつあるとの声あり。
- 小売業** 前回調査同様に「需要の停滞」との回答が突出しており、「販売単価の低下・上昇難」、「仕入単価の上昇」が続いている。今後の売上がコロナの影響で不安だとする声あり。
- サービス業** 「需要の停滞」が最も大きな問題点で、次いで「利用者ニーズの変化への対応」、「人件費以外の経費の増加」となっている。コロナ禍における新生活様式への対応の負担の増加がうかがえる。

鶴岡市経済動向資料について

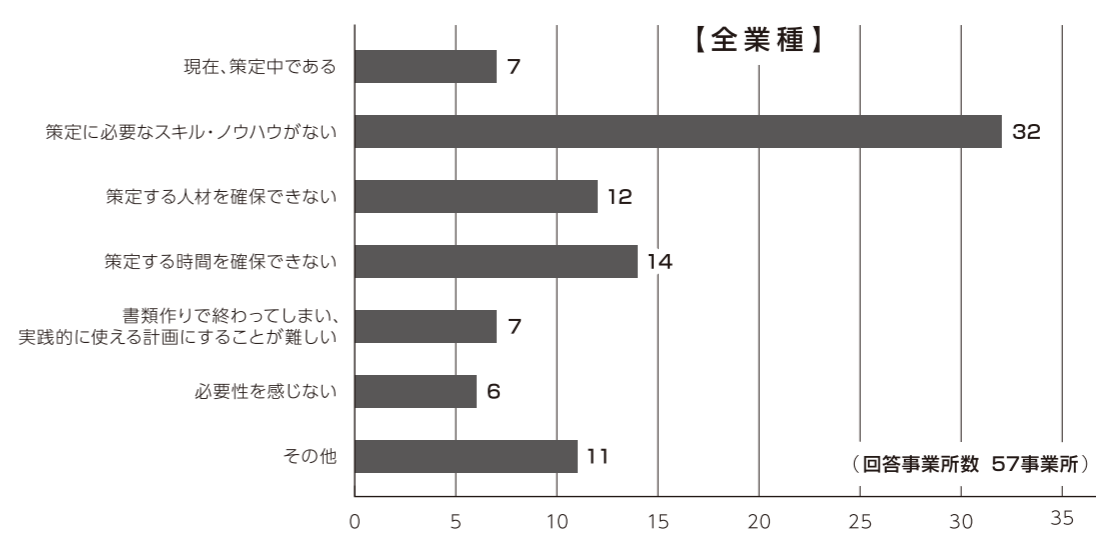
鶴岡市の経済に関する資料をまとめ「鶴岡市経済動向」として公開しています。地域経済の動きを知るための一資料としてご利用ください。

QRコードからダウンロードしてください

## 付帯調査 >>>

### 事業継続計画(BCP)の策定に対する課題状況

大地震や大規模風水害等の緊急時において、事業を継続していくためには販売先や仕入先、外注先等との取引の維持・早期再開を図ることが重要であるため、緊急時の企業存続のための対策などを定めた事業継続計画(BCP)の策定が求められている。現時点で事業継続計画(BCP)を策定していない事業所を対象として調査を行った。



- ◆【全業種】において、事業継続計画(BCP)を策定していない理由として最も多かったものは「策定に必要なスキル・ノウハウがない」で回答事業所のうち32事業所(56.1%)が挙げられている。その一方で、「現在、策定中である」と回答した事業所も7事業所(12.3%)であった。
- ◆その他の意見として、BCPについては様々なパターンで作成されているが、その場で体が動くようにトレーニングが必要とする声やBCPという言葉自体を初めて聞いたという声もあった。

※詳細は、当所HP(<http://www.trcci.or.jp>)内「各種統計・データ」をご覧ください。